

SPLENDID21 NEWS

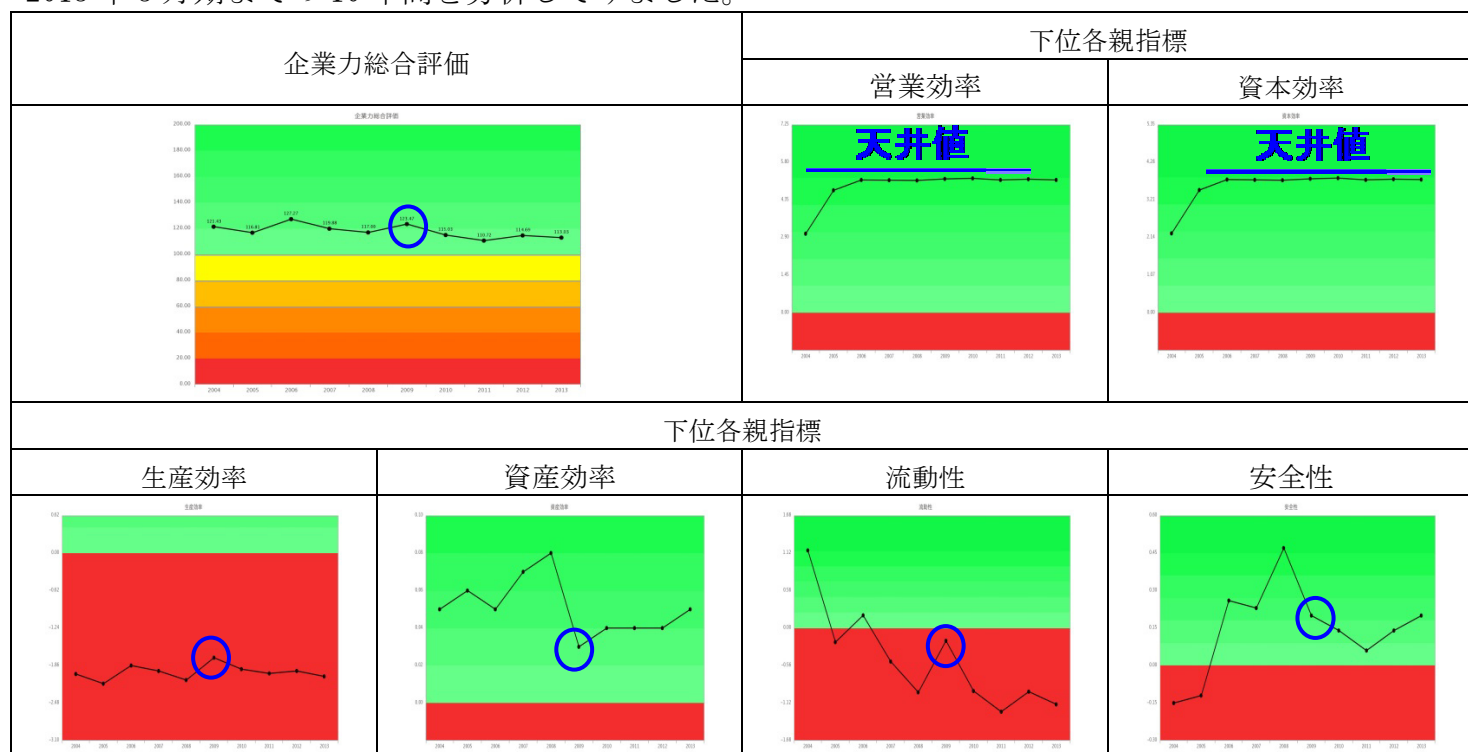
<http://sp-21.com>

第 98 号
2014 年 1 月 15 日発行
毎月 15 日発行

今回は、株式会社トリドールを分析しました。誰でも知っている丸亀製麺が主業態です。一押しメニューが 280 円の釜揚げうどん、釜揚げ家族うどんは並 6 玉入って 1200 円と破格値で勝負しています。ロードサイド店が多かったですが、最近ショッピングモールなど人の集まる処での出店を増やしているようです。

昨年末に SPLENDID21 のシステムを全面リニューアルしました。ビジュアルも大きく変え、10 年分析を出来るようにしました。これは、リーマン・ショックを境に経営が変わり、全体性の変遷を時系列で観察し易くする為です。

2013 年 3 月期までの 10 年間の分析してみました。



企業力総合評価は、121.43→116.81→127.27→119.88→117.00→123.47→115.03→110.72→114.69→113.03 と 110~120 ポイントの幅で緩やかな悪化トレンドで推移しています。店舗展開や、繁盛度を見ていると納得できない方も多いと思います。

その原因は下位指標にあります。営業効率（儲かるか）、資本効率（資本の利用度）は絶好調です。しかし、生産効率（人の利用度）が 10 期連続赤信号領域です。資産効率（資産の利用度）と流動性（短期資金繰り）は悪化トレンドで、総合評価が緩やかに悪化しているのはこの影響でしょう。資産効率と流動性の悪化は投資に意欲的な会社が起こりがちのパターンの一つです。（もともと現金商売、食品を扱うことから、売掛債権、棚卸資産が少なく流動性が低い業界です。）安全性は改善トレンドですね。営業効率、資本効率が良く、利益剰余金も溜まり、自己資本比率を押し上げています。

売上高の 91.15% が丸亀製麺業態ですから、ほぼ丸亀製麺の状況を示していると言って良いでしょう。

リーマン・ショックはどうだったのでしょうか。青丸が 2009 年 3 月期です。企業力総合評価は改善しています。生産効率と流動性が貢献しているようです。資産効率と安全性が悪化しています。調べてみると 2009 年 3 月期、982 百万円増資、4,454 百万円有利子負債を増やし右上表のように、総資本が 115.20% 増えています。現金預金も 3,815 百万円増やしています。売上増加率の推移と合わせて

見れば、(株)トリドールは、リーマン・ショック対応で資金調達して現金預金比率を高めたものの、財務対応にとどまらず、攻めの姿勢は崩さなかったことが分かります。

増加率 各下位指標	単位: 百万円・%									
	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
経常利益	161	315	726	962	1,386	2,707	4,724	4,568	6,499	6,911
経常利益増加率	0.00%	95.47%	130.59%	32.51%	44.00%	95.35%	74.51%	▲3.31%	42.27%	6.34%
売上高合計	3,539	5,158	7,906	10,885	16,455	24,520	38,929	48,835	61,075	70,906
売上高増加率	0.00%	45.76%	53.28%	37.68%	51.17%	49.01%	58.77%	25.45%	25.06%	16.10%
資産合計	2,282	2,934	4,772	6,060	8,425	18,130	25,374	31,717	39,729	45,104
総資本増加率	0.00%	28.59%	62.63%	26.83%	39.20%	115.20%	39.96%	24.99%	25.26%	13.52%
総従業員数	468人	697人	970人	1,343人	2,093人	3,066人	5,012人	6,442人	7,963人	9,477人
従業員増加率	0.00%	48.93%	39.17%	38.45%	55.85%	46.49%	63.47%	28.53%	23.61%	19.01%

2009 年をもう少し詳しく説明しましょう。

生産効率が改善したのは 2009 年売上高増加率 > 従業員増加率であった為です。その為 1 人当り売上が改善して生産効率が改善しました。この不等式を時系列でみていくと売上高増加率が大きかったのは 3 期、従業員増加率が大きかったのは 5 期です。若干人材育成という意味では弱いようです。人材育成に力を入れる会社のそれとは異なります。別の見方をすれば、飲食業の従業者を集める苦労の表れなのかもしれません。

資産効率の悪化と安全性の悪化は、増資、有利子負債を増加させた為に総資本（総資産）が増加し、売上に対して資産が増え、資産効率が悪化しました。自己資本増加に対して総資本（総資産）が増えて自己資本比率が悪化し、安全性が悪化したのです。

流動性の改善はもうわかりますね。現金預金の増加です。

営業効率指標を示しておきます。見事な 10 年です。

営業効率 各下位指標	単位: 百万円・%									
	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
売上高合計	3,539	5,158	7,906	10,885	16,455	24,520	38,929	48,835	61,075	70,906
売上総利益	2,402	3,549	5,644	7,891	12,021	18,237	29,166	36,410	45,343	53,284
売上高総利益率	67.88%	68.82%	71.38%	72.49%	73.05%	74.38%	74.92%	74.56%	74.24%	75.15%
営業利益	132	292	732	968	1,448	2,831	4,824	4,763	6,745	7,046
売上高営業利益率	3.72%	5.67%	9.25%	8.90%	8.80%	11.54%	12.39%	9.75%	11.04%	9.94%
経常利益	161	315	726	962	1,386	2,707	4,724	4,568	6,499	6,911
売上高経常利益率	4.55%	6.11%	9.19%	8.84%	8.42%	11.04%	12.14%	9.35%	10.64%	9.75%
当期純利益	84	154	390	506	590	1,351	2,261	2,021	3,053	3,248
売上高当期利益率	2.37%	2.98%	4.93%	4.65%	3.59%	5.51%	5.81%	4.14%	5.00%	4.58%

まとめ

システムリニューアルと 2014 年お正月発行ということで、10 年成長している会社を取り上げてみました。企業力総合評価は「攻め」すぎる？為、右肩上がりにはなりません、9 期連続増収増益で利益率も上がっています。生産効率に課題はあるものの立派です。

お問合せ先

SPLENDID21 に関するお問合せは下記までお願いいたします。

〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目 6 番 5 号 税理士法人 諸井会計

tel 0952-23-5106 fax 0952-22-2888 ☎ info@moroi.co.jp URL <http://www.moroi.co.jp/>